

校長室通信

平成24年度 第20号

下野市立南河内第二中学校

発行者 横島 清

H24. 12. 3

12月、師走となりました。カゼを引かないように元気で過ごしたいものです。

1 避難訓練実施

11月27日に、地震発生からの避難訓練を実施しました。今回は、予告なしの避難訓練でした。13時20分の昼休みの終了と共に放送が入りました。外で遊んでいる生徒、合唱の練習をしている2年生、教室で勉強したり話していたりする生徒、それぞれ各方面から思い思いの避難となりました。避難時間や避難態度は、通常の避難訓練と変わらず良くできていました。消防士さんから、“訓練でできないことは実際にもできない。”という言葉いただきました。私からは、自分の命は自分で守る。地震があったとき、その場の状況にあった正しい判断と行動がとれるようになる。なって欲しい。という願いをしました。

2 消費者教育講座

11月22日に2年生対象消費者教育講座が開催されました。下野市の生活安全課より、2名の講師に来ていただき話を聞きました。ここで、分かった事実は“契約は簡単に成立する”という事でした。生徒達は、売買する時に口頭で契約が成立したり、ワンクリックで契約が成立したりすることに非常に驚きいていました。特に携帯やネットの使用には、犯罪に巻き込まれないように十分気をつけなければならないことを肝に銘じたようです。被害に遭ってしまったら、一人で悩まず親に相談したり、消費者センターに連絡するとよいことも学びました。

3 小中英語交流授業

11月26日(月)に1年2組が、27日(火)に1年5組が、緑小で小中英語交流授業を行いました。生徒一人一人が緑小の6年生とペアになり、買い物ゲームを英語で行いました。今回の目標は、小学生は中学生や友達と英語を通して思いを伝える、中学生は店員役として質問を確認しながら伝えるべき内容を相手に正しく伝える。というもので、コミュニケーション能力や表現能力を狙ったものです。さらに、大きく見ると小中のスムーズな接続、中1ギャップの解消につながる取り組みと言えます。子どもたちは、すぐに打ち解け、和やかに活動していました。この活動に限らず、小中の連携活動を探っていきたいと思います。

〔保護者からの学校評価について 1〕

お忙しいところ、学校評価にご協力いただき、ありがとうございます。今回より、お寄せいただきました貴重な改善意見や提言を要約掲載し、学校としての考えを述べさせていただきます。失礼かとは思いますが、多くの意見を紙面の関係で要約させていただきました。また、紙面でのお答えですので、意が十分に伝わらないこともあるかと思えます。確認したい点がありましたら校長までお話しください。

なお、数値の集計結果については、12月8日(土)の保護者会の折りにご説明申し上げます。

《 1 学習に関すること 》

○授業の改善について

①わかりやすい授業

Q ; ご意見の要約

- ・授業の指導については、もう少し改善をして欲しい。
- ・学校は楽しいのですが、授業が分かりづらいらしい。
- ・授業のわかりやすい先生とわかりにくい先生と分かれるようです。
- ・教科によって学習内容があまり理解できていない。

A ; お答え

生徒にわかりやすい授業を行い学力をつけることは教師の本分です。学校では、教科・道徳・学級活動等の授業研究会を行い、大学の教授や委員会指導主事を交え自信を持って教えられるように指導力のレベルアップを図っているところです。しかし、指導力に個人差があることも事実です。教材研究を始めとし、発問の工夫や板書・ノートの取り方まとめ方・問題の解き方等を教科部会で話し合うなどして、生徒に基礎・基本が身に付くよう、また、わかりやすい授業を行うよう実践していきたいと思います。



②学力・能力に応じた学習支援

Q ; ご意見の要約

- ・英語の授業を英語のみで実施しているので理解できない。
- ・英語で授業を進めるなら、習熟度別クラス(学習)を導入して実施して欲しい。
- ・子どもの学習能力に応じた指導をして欲しい。
- ・授業についていけない子どものフォローをお願いしたい。
- ・授業についていけない生徒には、先生から言葉かけをしたりして基礎・基本を身に付けさせて欲しい。

